

# 株式会社 アート建工

● 建設業／不動産業／まちづくり など

## 暮らす人目線の家づくりで 人づくりからまちづくりまで

今年創業40周年を迎えた《株式会社アート建工》。山陰の暮らしを追求した設計デザインや価格と性能のバランス、妥協のないクオリティなどが高く評価され、山陰NO.1の施工実績を誇っている。

19  
LEADING COMPANY

### 「家は人を創る」を杜是に 妥協のないクオリティを追求

あなたにとって家とは何だろうか。雨風をしのぎ、十分な睡眠を取れる場所であり、家族と団らんできる空間であり、疲れた心身を包み込んでくれる存在かもしれない。《株式会社アート建工》の魚谷宗司社長が第一に考える家の役割は、「人を創る」だ。「人は幼い時からの習慣で人格を形成していきます。そしてその習慣は、環境で無意識に身に付いていきます。私たちは、家づくりを通して人づくりのお手伝いをしていこうと考えています」と続ける。

創業は1985年。港湾土木建設会社を経営する魚谷社長の父が住宅事業に参入したのが始まりだ。大学卒業後の2004年に入社した魚谷社長は、競売物件から債務者を追い出す任務を与えられた。家を追われる人は、商売に失敗したり、無理なローン計画を組んだりしたケースが多かった。そしてそれ以外の人に共通していたのが、日々の暮らしを大事にできていないことだった。「整理整頓や約束を守ることに厳しかった祖父を思い出しました。習慣で人は育つんだと痛感したんです」と魚谷社長。祖父から受け継いだ思いは、「家は人を創る」という杜是に

つながった。無理のない資金計画を提案する重要性も身に染みた。

その後、注文住宅事業に本格参入。日本最大級の工務店ネットワークに加盟し、国内外各地の家を回る中、今や会社の代名詞にもなりつつある「山陰スタンダード」という考えにたどりつく。「地域の気候に合った家づくり、性能の必要性、まちづくりと一体化したデザイン性。そのすべてを実現していかなばならないと強く感じました」。32歳で代表取締役に就任すると、思いの具現化を加速させていった。

知名度ゼロの社名をPRしようと、モデルハウスを相次いで開設。完全自由設計の注文住宅《アート建工》だけでなく、17年には太陽光発電や省エネ対応の設備仕様でトータルコストを抑えた注文住宅《トコスホーム》、19年には資産性の高い立地にこだわった高品質分譲住宅《マチリブ》の2ブランドを追加し、顧客の選択肢を広げた。

家に求める価値は人それぞれ違う。しかし、どの家も暮らす人をより良くするものであってほしい。そんな思いと、クオリティの高さが次第に人々の心をつかみ、2023年度の着工棟数は山陰ナンバーワンを記録。18年度の62棟から25年度は約5倍の300棟に迫る勢いだ。





アート建工で家を建てた人を対象にしたオーナー様感謝祭《アートフェス》を毎年開催。2025年は米子市公会堂を貸し切って、ステージやDIY体験、マルシェ、緑日、フォトコンテストなどさまざまな趣向を凝らし、訪れた1000人以上の参加者が夏の日を満喫した

創業40周年。特にこの10年間の事業拡大は目覚ましく、売上高は15年の4・9億円から24年の66億円へと大きく成長を遂げた。いい家といい町をつくるのが山陰を幸せにする——その信念に基づき、住宅からオフィスなどの非住宅、不動産・コンサル事業へと多角的に事業展開。各事業が連携し、思いを一つにした社員がタッグを組んできたシナジーが、高い成長を促してきた。「現時点では55点。幸せな町づくりにはまだまだできることがあります。ともにつくっていきましょう」



#### スサマジ選手と親子スポーツクリニック

スポーツイベントへの協賛を通じた地域貢献にも力を入れる。2025年には、山陰2か所で《アート建工×島根スサノオマジック 親子スポーツクリニック》を開催。選手2人に参加してもらい、バスケットボールの要素を取り入れたスポーツクリニックを多くの親子が楽しんだ。



#### 外部授業を通じ、高校生に社会学習の場を提供

山陰合同銀行と、SDGs私募債を発行する地元企業13社が連携して2024年、キッチンカーと看板用モニターを境港総合技術高校に寄贈。つながった縁を生かし、生徒らに社会学習の場を提供する一環として25年6月、「働く意味」をテーマにした魚谷社長による外部授業が実施された。



フを多く抱える当社は異端だが、確実に結果を導き出している。

**心地よく住み続けられる豊かなまちをつくる**

挑戦は住宅事業に留まらない。建築・不動産業を通じた魅力ある町づくりを進めようと2021年、《株式会社サインインホールディング》を設立。住宅・建築事業を担う会社として、従来のアート建工を100%子会社化した。同時期から遊休

不動産などを活用したシェアオフィスやホテルをオープンし、非住宅ブランド《ワークスル》も展開。福祉事業の担い手として、障がい者向けグループホームの運営から運営までサポートする《リクススル株式会社》も新たに作った。「町は住宅だけで構成されているわけではなく、食べたり、学んだり、人が集ったり、福祉や医療を受けたりと、さまざまな場所が連なって作られています。人を創るのはまず家ですが、暮らし

の場である町からも大きな影響を受けます。目指すのは、日々の生活から人生を豊かにすることです」。魚谷社長の声が熱を帯びた。

同じ思いで地域貢献にも力を入れる。日南町と「Jクレジット」売買契約を結び、森林保全をサポートしたり、古くなった小学校の机の天板を国産間伐材に取り替える「木望の未来プロジェクト」を展開したりして、未来を見据えたふるさと支援を展開。モデルハウスを活用した親子向け体験教室を通して、地域住民の交流を図る取り組みにも熱心だ。



アート建工では、1軒の家づくりを営業、設計、施工など各分野のプロがチームで担当。それぞれの専門性と高いチーム力で高品質の家を生み出している

## チームでつくる高品質な家

**同じ志を抱く社員を育成**

「家は人を創る」という社是に基づき家づくりに共感したのは、顧客だけではない。魚谷社長が代表取締役になった2012年当初は10人弱だった社員数が現在は150人。「この7、8年、採用コストは他社の10倍以上かかっていたかもしれない。納得いく家づくりに同じ志を持った仲間が欠かせませんから」

飛躍的な業績アップの要因を尋ねると、魚谷社長は「バランスの良さかな」と笑う。「住宅を選ぶ3要素は、価格、性能、デザイン。多くの会社はマーケティング戦略として一つを尖らせてきますが、建てる人に

とってはどれも不可欠。だからあえて尖らせないのが当社の方針です」。すべてにこだわるには、営業、設計、施工、インテリアコーディネーターなど各分野のプロが必要。だからこそ社員を増やしてきた。

魚谷社長が社員に求める一番の要素は「誠実」だ。行動指針（Value）のトップに掲げている。躍進するアート建工の門をたたくのは、同業他社でトップ営業マンとして名を馳せた人もいる。しかし、数字だけにとらわれない。「お客様の思いに寄り添っていい家を提供したいという思いがいかに強いのか。それが一番大事なんです」。利益率が重視される業界において、自社スタッ

**「断熱館」で性能を体感 多ブランド化で選択肢拡大**

右肩上がりの業績にも満足しない。自社で追求してきた山陰スタンダードをより深めようと、建築熱・空気、省エネルギーに取り組む東京大学の前眞之准教授と共同研究を進め、山陰各地の住環境に関する各種データを収集。夏涼しく冬暖かく過ごせる熱環境、明るい室内を生み出す窓の配置、省エネ創エネ効率を最適化する屋根の形などを導き出し、住宅設計に取り入れていった。

2023年には断熱性能を比較できる「断熱館」を山陰で初めて設置。家具や住宅設備と違い、断熱性能は目に見えない。そこで性能の違う5つの部屋を用意し、断熱性の重要性を実際に感じてもらえるようにし

た。同じ敷地内には、夜間の照明をシーンごとに体感できる「照明館」も整備。光の当たり方だけでなく影が生み出す雰囲気の違いもわかる。24年度からは従来の3ブランドに加え、「二一モ」（注文住宅）、「ココスム」（分譲住宅）の2ブランドを追加。現在新たなブランドも開発中だ。価格帯のラインナップは広げても、耐震や断熱などの基本的性能はキープ。家に求められる性能は必要不可欠であり、価格で差をつけるものではないという考えが根底にある。「冬でも軽装で走り回れる家と、寒くてこたつでじっと丸まらざるを得ない家では、子どもの活動内容も大きく変わってきます。キッチンの配置や洗面台の広さでも人の行動や思考は変わります。家は人にとって本当に重要なアイテムなんです」

「社員には『家を売りつけるな』といつも言っています」と魚谷社長。「お客様の目線に立ち、本当の声を聞き出すことが最も大事なんです」。プライベートでは3人の父で、料理が趣味の一つだ





## 株式会社 アート建工

創 業 昭和60 (1985) 年4月5日

代表者 代表取締役 魚谷 宗司

社員数 150名 (男78名 女72名)

本 社 鳥取県米子市両三柳255-8

### 事業内容

注文住宅の設計・施工・管理、分譲住宅設計・  
施工・管理ならびに販売、不動産の売買、非  
住宅提案・施工・設計、福祉コンサルティング  
事業、まちづくりなど

### 勤務地(採用エリア)

米子市、鳥取市、出雲市、松江市、倉吉市

### 採用区分

新卒採用

キャリア採用

### インターンシップ・キャリア

有 日程が決まり次第、マイナビ、採用サイ  
トとInstagramにて、順次情報公開。

### 採用担当者からあなたへ

「人の幸せを通して自己実現をする」を経営  
理念に、山陰で暮らす人達が住みやすい家  
づくりやまちづくりを考えています。「自分の  
人生を自らリードせよ」をモットーにスピード  
感を持ち状況変化に応じて主体的に判断・  
行動し社員皆が協力してお客様  
の幸せのために全力を尽くして  
います。目標に向かって挑戦  
したい、成長したい、山陰  
を盛り上げたい方はぜひ  
アート建工へ！

総務部人事  
久米本 薫さん

採用に関するお問い合わせ先

0859-21-2234

公式サイトは  
こちら



求人サイトは  
こちら



動画サイトは  
こちら



## 家・まち・社会をつくる

### 5ブランド展開し ニーズに対応

家づくりの多様なニーズ  
に応えようと、2024年  
度から住宅ブランドを2  
つ増やして5つ展開。断  
熱性や耐震性などの基  
本性能は同じにしつつ、  
比較的成本を抑えた分  
譲住宅から完全自由設  
計の注文住宅まで、フ  
レキシブルに対応でき  
る体制を整えた。



### 共生社会目指し 福祉事業にも注力

グループホームの開業か  
ら運営までをトータルサ  
ポートする《ラシクスル  
株式会社》。住宅建築で  
の実績を生かし、初期  
コストを抑えた運営が強  
みだ。今夏は、MOVIX  
日吉津シアターでユニバ  
ーサルデザインに配慮し  
た上映会を主催。多く  
の障がい者や家族が楽し  
んだ。



### 非住宅専門ブランド 《ワークスル》好評

2023年に非住宅専門ブ  
ランド《ワークスル》を  
新設。オフィスや倉庫、  
店舗建築に特化し、企  
業の生産性向上と従業  
員の働きやすさを両立  
する空間創出を目指し  
ている。事業計画の作成  
から融資、不動産の提案  
などまで細やかなサポ  
ートで支持を集めている。



## 個性を発揮して働ける職場

### 小学校教諭から転身 “お客様ファースト”で提案

大学卒業後、米子市内の小学校で教師  
をしていました。幅広い知見がないまま  
子どもたちを指導する自分に葛藤を抱  
き、他の職種を経験してみたいと思うよ  
うに。“お客様ファースト”の理念を持つ当  
社を選びました。住宅アドバイザーとし  
て、お客様のニーズや収入に応じた住ま  
いづくりを提案。お客様のご希望とご予  
算のバランスを取った提案は難しいです  
が、引き渡し時の笑顔を見ると達成感  
を覚えます。



営業部  
中途入社4年目

### 自宅の新築を機に転職 成長し続けられる職場に満足

自宅を当社で建設。家づくりの過程で  
多くの魅力的な社員に接し、前向きな会  
社の雰囲気にも惹かれて転職を決めまし  
た。現場では社内外の多くの人と協力作  
業に当たります。チームで課題に取り  
組み、一つ一つ解決してい  
く中で日々自身のレベルア  
ップを感じています。建築  
の仕事は学ぶことが多く、  
成長し続けられる職場であ  
ることに満足しています。



建築部 施工管理課  
中途入社4年目

仕事の様子は  
こちらから！



### 暮らしやすいまちづくり目指し 「地域NO.1」に挑戦し続ける

小学2年生から卓球を始め、ずっと1番  
を目指してきたものの、高校最後の県大  
会では2位。そんな自分にとって、当社が  
掲げる「地域NO.1になる」のフレーズは  
輝いて見えました。日々の頑張りが会社  
の成長に直結し、名実ともに山陰トップを  
目指し働く環境は刺激的です。営業マネ  
ージャーとして、人材育成や売り上げ確保  
などの課題がありますが、暮らしやすいま  
ちづくりに携われることにやりがいを感じ  
ています。



営業部  
新卒入社10年目

### 現場のコミュニケーションを大切に 全員でよりよいものを創り上げる

建築棟数が多く、業界では珍しく分業  
制が徹底されている点に惹かれて転職し  
ました。難易度が高い工事には不安あり  
ますが、自分の力が試されるチャンスと  
捉えて挑戦。その繰り返しで確かなプラ  
イドにつながっています。一軒の家を建  
てるためには、数多くの職人さんと関係  
者の協力が不可欠。現場監督として、全  
員が力を発揮できるよう気配りし、お客  
様にとって良いものを生み出せるよう心が  
けています。



建築部 施工管理課  
中途入社4年目

### ものづくりをリアルに体感し、 地域に寄り添える存在に

「過疎化が進む町に一つの大型施設で  
人を集めるのではなく、平面的に生活拠  
点を展開させることで、まち全体を元気  
にしていこう」。入社決め手になった社長  
の言葉です。ものづくりが好きで、学生  
時代には自ら設計した掘り立て小屋をリヤ  
カーに載せて宍道湖周辺を歩いたこと  
も。理想を形にしようとする会社の姿勢  
は、自分の描く未来に合致しました。多く  
の視点からお客様や地域に寄り添える存  
在になりたいです。



設計部  
新卒入社2年目

### 地道な作業と幅広い視野で イメージから空間を具現化

インテリアコーディネーターとして、床  
や壁の素材選びから電気配線や水回りの  
設備、照明の配置などまで、設計図を元  
に空間全体を考えています。一見華やか  
に見られがちですが、地道な作業や幅広い  
視野が求められ、責任ある仕事です。  
入社当時はまだ社内に専門部署がなく、  
社員もわずか25人だったのが、今は私は  
サブリダーとなり社員も150人超。急  
成長する会社で、私なりの役割を果たし  
ていきたいです。



設計部  
新卒入社7年目

### 営業と施工管理の経験生かし 図面の先にある「暮らし」を描く

父や叔父の仕事が建設関係だったた  
め、自宅には建築資材の端材があふれ、  
幼い頃から遊び感覚でものづくりを楽しん  
でいました。大学で建築を学び、設計志  
望で入社。配属先は想定外の営業でしたが、  
お客様の言葉の奥にある想いを汲み  
取り、真摯に向き合う姿勢が培われまし  
た。さらに現場で施工管理を経験して設  
計に戻りました。他部署での学びが、図  
面の先にある「人の暮らし」を描くこと  
につながっています。



設計部  
新卒入社12年目

### 諦めた夢にリチャレンジ スタッフと連携して丁寧に作図

育児との両立が難しく、一度は建築業  
界から離れていましたが、再び働きたい  
という思いが強まる中、当社に出会いま  
した。CADのオペレーターとして、現在  
は自宅でのリモートワークをしています。  
作図中の気付きを社内チャットで伝える  
と即座に対応してくれるなど、コミュニ  
ケーションが円滑。立場や領域を超えて、  
スタッフ全員が同じ方向を見ながら助け  
合える会社です。好きな仕事を諦めずに  
続けられて幸せです。



設計部  
中途入社6年目